

令和元年平均 富山市の家計調査の結果（家計収支編）概要について

総務省統計局より「家計調査報告〔家計収支編〕（令和元年平均結果の概況）」が公表され、富山市分がまとまりましたのでお知らせいたします。

調査の概要

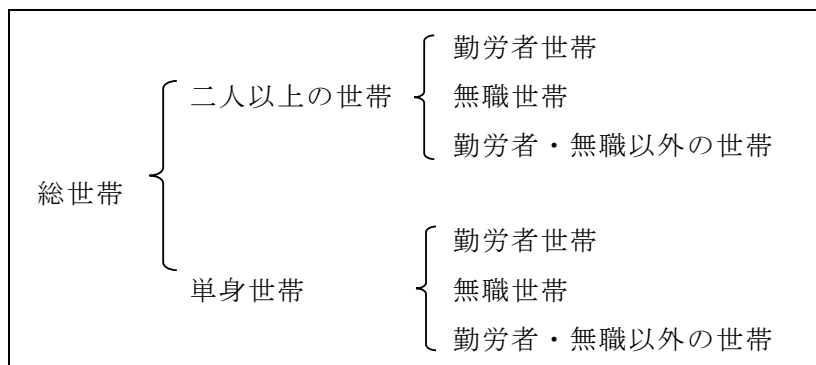
1 調査の目的

家計調査は、全国の世帯を対象とし、毎月の家計収支を調査することにより、国民生活の実態を明らかにして、経済施策や社会政策立案のための基礎資料を得るために行う調査であり、主に都道府県庁所在市の調査結果が公表されている。

2 調査世帯

区 分	全 国	富 山 県			
		富山市	射水市	滑川市	計
総 世 帯	8,821	104	26	13	143
二人以上の世帯	8,076	96	24	12	132
単 身 世 帯	745	8	2	1	11

3 調査世帯区分



「勤労者世帯」：世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに雇われて勤めている世帯。
ただし、世帯主が社長、取締役、理事など会社・団体の役員である世帯は「勤労者・無職以外の世帯」に含める。

「無職世帯」：世帯主が無職である世帯。

「勤労者・無職以外の世帯」：「勤労者世帯」及び「無職世帯」以外の世帯。例えば、世帯主が自営業者、個人経営者など使用者側にある世帯。

結果の概要

(1) 二人以上の世帯の家計消費

二人以上の世帯の消費支出は 307,640 円で全国第9位、実質 5.2%の減少

令和元年の二人以上の世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均 307,640 円で全国第9位となり、前年（平成30年）と比較すると、名目・実質ともに 5.2%の減少となった。

消費支出を10大費目別にみると、「住居」の1費目のみ実質増加となった（表1、図1）。

また、消費支出の費用別構成比を全国と比べると、「光熱・水道」、「交通・通信」、「その他の消費支出」の割合が全国より高くなっている（図2）。

表1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成30年	順位	令和元年	順位	名目	実質	令和元年
世帯人員(人)	3.20	3	3.12	7	-	-	2.97
65歳以上人員(人)	0.87	15	0.77	31	-	-	0.82
有業人員(人)	1.60	2	1.56	1	-	-	1.34
世帯主の年齢(歳)	56.7	42	56.4	44	-	-	59.4
消費支出(円)	324,437	3	307,640	9	-5.2	-5.2	293,379
食料	82,244	3	78,375	6	-4.7	-4.9	75,258
住居	11,929	40	17,603	22	47.6	47.6	17,094
光熱・水道	27,618	3	25,679	8	-7.0	-8.0	21,951
家具・家事用品	11,981	6	11,687	17	-2.5	-1.1	11,486
被服及び履物	10,567	26	10,449	21	-1.1	-1.3	10,779
保健医療	12,936	25	12,506	35	-3.3	-3.8	13,933
交通・通信	55,863	2	51,376	8	-8.0	-6.9	43,632
教育	13,324	12	8,174	37	-38.7	-39.6	11,492
教養娯楽	29,748	14	29,062	14	-2.3	-3.1	29,343
その他の消費支出	68,226	8	62,729	9	-8.1	-8.1	58,412
エンゲル係数(%)	25.3	27	25.5	22	-	-	25.7

(注) 表中の数字は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しない。

図1 費目別消費支出金額（富山市、二人以上の世帯）

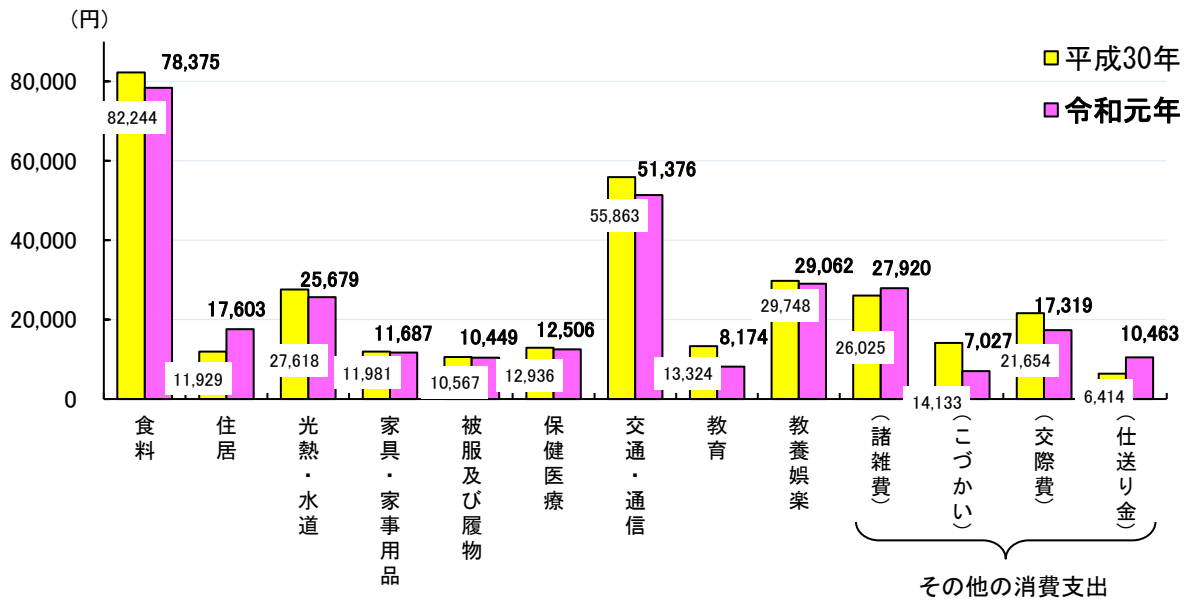
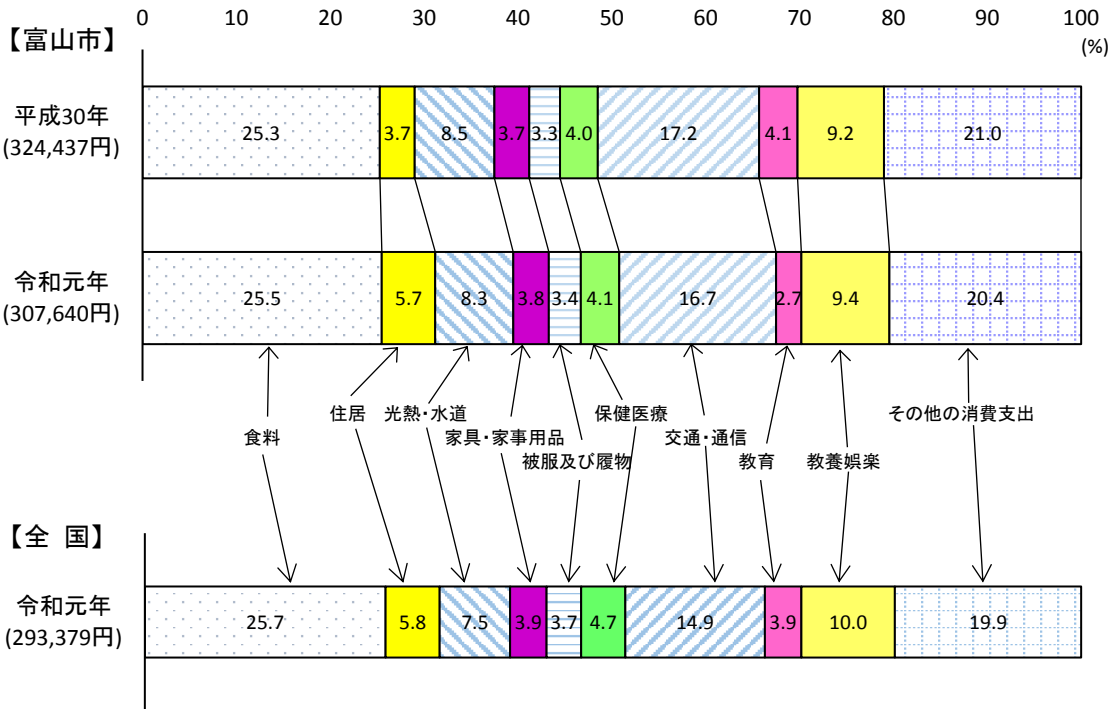


図2 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



(2) 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支

勤労者世帯の実収入は 593,210 円で全国第 17 位、実質 4.2%の減少
可処分所得は 499,675 円で全国第 12 位、実質 4.8%の減少

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり1か月平均593,210円で全国第17位となり、前年と比較すると名目・実質ともに4.2%の減少となった。

実収入の内訳をみると、「勤め先収入」のうち「世帯主収入」は全国を下回っているが、「配偶者の収入」(112,951円、全国第9位)や「他の世帯員収入」(40,659円、全国第1位)が全国平均を大きく上回っている。また、年金等を含む「その他の収入」も70,342円で全国第2位となっている。

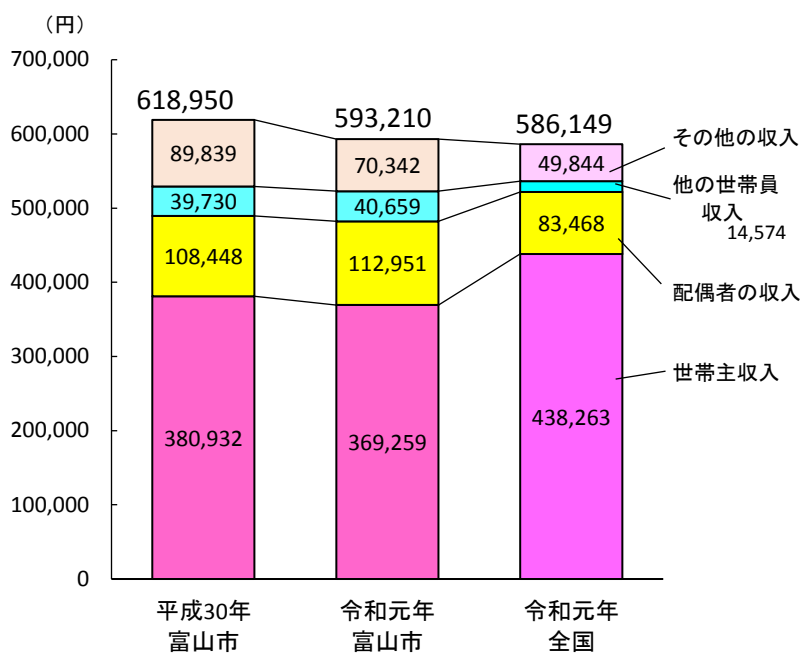
その他に、実収入から税金などの非消費支出を引いた可処分所得は499,675円で全国第12位となった(表2、図3)。

表2 家計収支と内訳(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成30年	順位	令和元年	順位	名目	実質	令和元年
世帯人員(人)	3.49	6	3.41	8	-	-	3.31
65歳以上人員(人)	0.59	1	0.38	1	-	-	0.26
有業人員(人)	1.92	4	1.94	4	-	-	1.77
世帯主の年齢(歳)	50.7	8	49.9	17	-	-	49.6
実収入(円)	618,950	7	593,210	17	-4.2	-4.2	586,149
勤め先収入	529,110	20	522,869	25	-1.2	-1.2	536,305
世帯主収入	380,932	38	369,259	41	-3.1	-3.1	438,263
世帯主の配偶者の収入	108,448	6	112,951	9	4.2	4.2	83,468
他の世帯員収入	39,730	1	40,659	1	2.3	2.3	14,574
その他の収入	89,839	1	70,342	2	-21.7	-21.7	49,844
消費支出(円)	344,535	8	323,725	20	-6.0	-6.0	323,853
非消費支出(円)	94,064	34	93,536	37	-0.6	-	109,504
可処分所得(円)	524,886	4	499,675	12	-4.8	-4.8	476,645
黒字(円)	180,351	3	175,949	10	-2.4	-	152,792
平均消費性向(%)	65.6	43	64.8	36	-	-	67.9
エンゲル係数(%)	24.4	19	23.9	23	-	-	23.9

(注) 表中の数字は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しない。

図3 実収入の内訳（二人以上世帯のうち勤労者世帯）

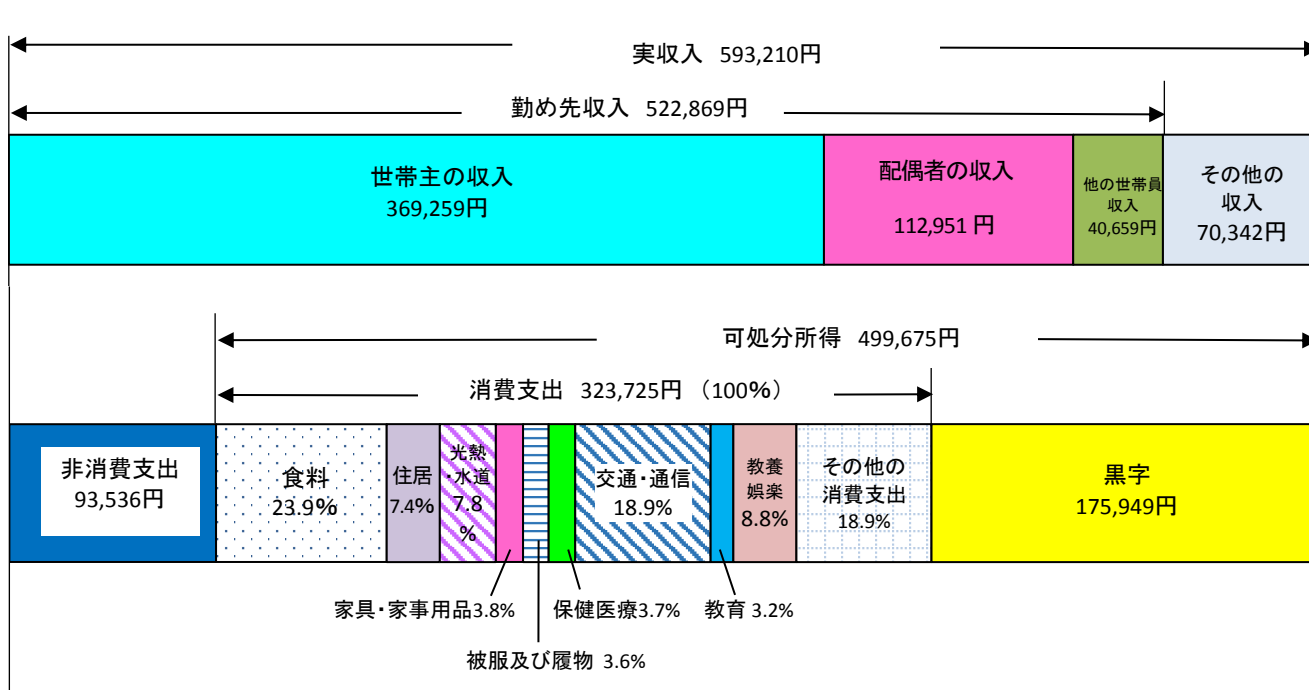


勤労者世帯の消費支出は 323,725 円で全国第 20 位、実質 6.0%の減少

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均323,725円で全国第20位となり、前年と比較すると名目・実質ともに6.0%の減少となった。

(表2、図4)

図4 家計収支の構成（富山市、二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



(3) 総世帯の家計収支

総世帯の消費支出は 257,579 円で全国第 12 位、実質 1.3%の減少
 勤労者世帯の実収入は 505,238 円で全国第 23 位、実質 9.1%の減少

総世帯[※]の消費支出は、1世帯当たり1か月平均 257,579 円で全国第 12 位、前年と比較すると名目・実質ともに 1.3%の減少となった。

総世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり1か月平均 505,238 円で全国第 23 位、前年と比較すると名目・実質ともに 9.1%の減少となった(表3、表4)。

※ 総世帯とは、「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯をいう。

表3 消費支出(総世帯)

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成30年	順位	令和元年	順位	名目	実質	令和元年
世帯人員(人)	2.52	3	2.36	10	-	-	2.30
有業人員(人)	1.25	3	1.24	2	-	-	1.07
世帯主の年齢(歳)	57.7	38	54.5	43	-	-	59.3
消費支出	261,084	6	257,579	12	-1.3	-1.3	249,704

表4 家計収支(総世帯のうち勤労者世帯)

項目	富山市				増減率(%)		全国
	平成30年	順位	令和元年	順位	名目	実質	令和元年
世帯人員(人)	2.96	6	2.63	22	-	-	2.6
有業人員(人)	1.72	2	1.63	10	-	-	1.53
世帯主の年齢(歳)	49.1	16	45.5	36	-	-	47.8
実収入(円)	555,973	4	505,238	23	-9.1	-9.1	512,534
消費支出	299,303	8	277,671	24	-7.2	-7.2	280,531
非消費支出	85,255	29	80,383	38	-5.7	-	95,554
可処分所得	470,718	2	424,855	18	-9.7	-9.7	416,980
黒字	171,416	3	147,184	14	-14.1	-	136,449
平均消費性向(%)	63.6	39	65.4	33	-	-	67.3
エンゲル係数(%)	25.1	14	23.9	22	-	-	24.0

(4) 食料品品目別ランキング（二人以上の世帯、都道府県庁所在市別）

「こんぶ」は59回目の支出金額第1位 「ぶり」は支出金額第4位

二人以上の世帯の1世帯当たり年間の食料の支出金額が大きい品目をみると、「生しいたけ」、「こんぶ」、「オレンジ」、「食塩」、「コーヒー飲料」が全国第1位となり、「こんぶ」と「コーヒー飲料」が昨年に引き続き全国第1位となった。

中でも、「こんぶ」は都市別データが確認できる昭和35年以来（平成25年を除く。）59回全国第1位となっている。また、「ぶり」は支出金額では第4位、購入数量では第2位となっている（表5）。

表5 富山市の食料品全国ランキング

		全国順位	平成30年	令和元年
支出金額	上位	1位	もち、ぶり、えび、さしみ盛合わせ、 魚介の漬物(みそ漬、昆布締め等)、 ほうれんそう、かぼちゃ、こんぶ、 キウイフルーツ、そうざい材料セット、コーヒー飲料	生しいたけ、こんぶ、オレンジ、食塩、 コーヒー飲料
		2位	いか、えのきたけ、だいこん漬、 他の野菜・海藻加工品のその他(水煮野菜・ ゆで野菜、野菜の缶詰等)、 カツレツ、天ぷら・フライ、 発泡酒・ビール風アルコール飲料	魚介の漬物(みそ漬、昆布締め等)、 他の根菜(かぶ、じねんじょ(長芋)等)、 えのきたけ、こんぶつくだ煮、バナナ、 ケーキ、すし(弁当)
		3位	かまぼこ、みかん、梨、ふりかけ、コロッケ、 冷凍調理食品、他の茶葉(玄米茶・麦茶等)、 チューハイ・カクテル	もち、いか、かまぼこ、ブロッコリー、梨
	下位	45位		鶏肉、ケチャップ
		46位	小麦粉、ちくわ	かつお、ちくわ、ハンバーグ、紅茶
		47位	粉ミルク	かつお節・削り節、弁当
購入数量	上位	1位	もち、ぶり、えび、さしみ盛合わせ、 キウイフルーツ	さしみ盛合わせ、オレンジ
		2位	いか、卵、ほうれんそう、だいこん漬、 しょう油、発泡酒・ビール風アルコール飲料、 チューハイ・カクテル	ぶり、いか、もやし、こんぶつくだ煮、バナナ
		3位	カップ麺、豆腐、オレンジ 梨、マーガリン	ソーセージ、こんぶ
	下位	45位	小麦粉	他の麺類(ギョーザの皮、ビーフン等)、 砂糖、ソース
		46位		緑茶
		47位	粉ミルク	鶏肉、さつまいも、たまねぎ

用語の解説

収支項目

実収入	…	いわゆる税込み収入であり、世帯員全員の現金収入を合計したもの。
実支出	…	「消費支出」と「非消費支出」を合計した支出。
消費支出	…	いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。
非消費支出	…	税金や社会保険料など、原則として世帯の自由にならない支出。
可処分所得	…	「実収入」から税金、社会保険料などの「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。これにより購買力の強さを測ることができる。 可処分所得＝実収入－非消費支出
黒字	…	「実収入」と「実支出」との差であり、マイナスの場合は赤字ということになる。これは「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額とも同じである。 黒字＝実収入－実支出＝可処分所得－消費支出
貯蓄純増	…	「預貯金」と「保険掛金」の合計から「預貯金引出」と「保険取金」の合計を差し引いたもの。 貯蓄純増＝（預貯金＋保険掛金）－（預貯金引出＋保険取金）

各種比率

エンゲル係数	…	消費支出に占める食料費の割合であり、生活水準の高低を表す一つの指標となる。 エンゲル係数（％）＝食料費÷消費支出×100
平均貯蓄率	…	可処分所得に対する貯蓄純増の割合。 平均貯蓄率（％）＝貯蓄純増÷可処分所得×100
平均消費性向	…	可処分所得に対する消費支出の割合。 平均消費性向（％）＝消費支出÷可処分所得×100
実質増減率	…	名目増減率から消費者物価変動の要素を除いたもの。 消費支出の項目ごとの対前年実質増減率は、次式により求めている。 なお、実収入、可処分所得及び消費支出は、消費者物価指数の持家の帰属家賃※を除く総合指数の変化率を用いている。

$$\text{実質増減率（％）} = \left[\frac{100 + \text{名目増減率}}{100 + \text{各項目に対応する消費者物価指数の変化率}} - 1 \right] \times 100$$

※ 持家の帰属家賃…持家の住宅を借家とみなした場合、支払われるべき家賃

※ 調査結果については、調査世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意する必要がある。

※この家計調査の結果は、以下の URL でもご覧になれます。

- ・富山県 HP とやま統計ワールド
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>
- ・総務省統計局家計調査 HP
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/2.htm#new>（家計収支編）